

Windows XP Service Pack3、 Windows Vista Service Pack2 及び Windows 7 を 導入したパソコンにおける電子入札への影響について

○ 影響内容

電子入札システムをご使用のパソコンに Windows XP Service Pack3(以降、Windows XP SP3 と言う)、Windows Vista Service Pack2(以降、Windows Vista SP2 と言う)、Windows 7 を導入された場合、Windows OS が持つ機能によって下記の影響が発生しますのでご注意ください。
また、Internet Explorer 7(以降、IE7 と言う)や Internet Explorer 8(以降、IE8 と言う)を使用する場合は、Internet Explorer 6 SP3(以降、IE6 SP3 と言う)の場合とは異なる動作、画面表示となる場合がありますのでご注意ください。

【ポップアップブロック機能による影響】

電子入札システムのPIN入力後、「サーバ通信中」のダイアログボックスが抑止され、以降の処理を行うことが出来なくなります。

⇒ 回避方法は、「ポップアップブロック機能対応方法1」(P3)または「○ポップアップブロック機能対応方法2」(P4)をご覧ください。

【ダウンロード防止機能による影響】

提出済みの申請書等をダウンロードして保存する場合、サーバからのダウンロードが禁止され該当の申請書等を保存することができません。

⇒ 回避方法は、「ダウンロード防止機能対応方法」(P5～P6)をご覧ください。

【ウィンドウタイトルに URL が表示される】(IE7、IE8 使用時)

IE7 または IE8 を使用している場合にウィンドウタイトル(ブラウザ画面の右上部分)に URL が表示されることがあります。

⇒ この状態のままでも電子入札システムの操作に支障ありませんが、回避する場合には、「URL 表示への対応方法(IE7、IE8)」(P7)をご覧ください。

【画面の崩れ表示による影響】(IE8 使用時)

IE8 を使用している場合に画面が崩れて表示されることがあります。

⇒ 回避方法は、「画面の崩れ表示への対応方法 (IE8)」(P8～P12)をご覧ください。

【その他の制限事項】

その他、ファイル添付時の内容表示が行えないなどの制限事項が存在します。

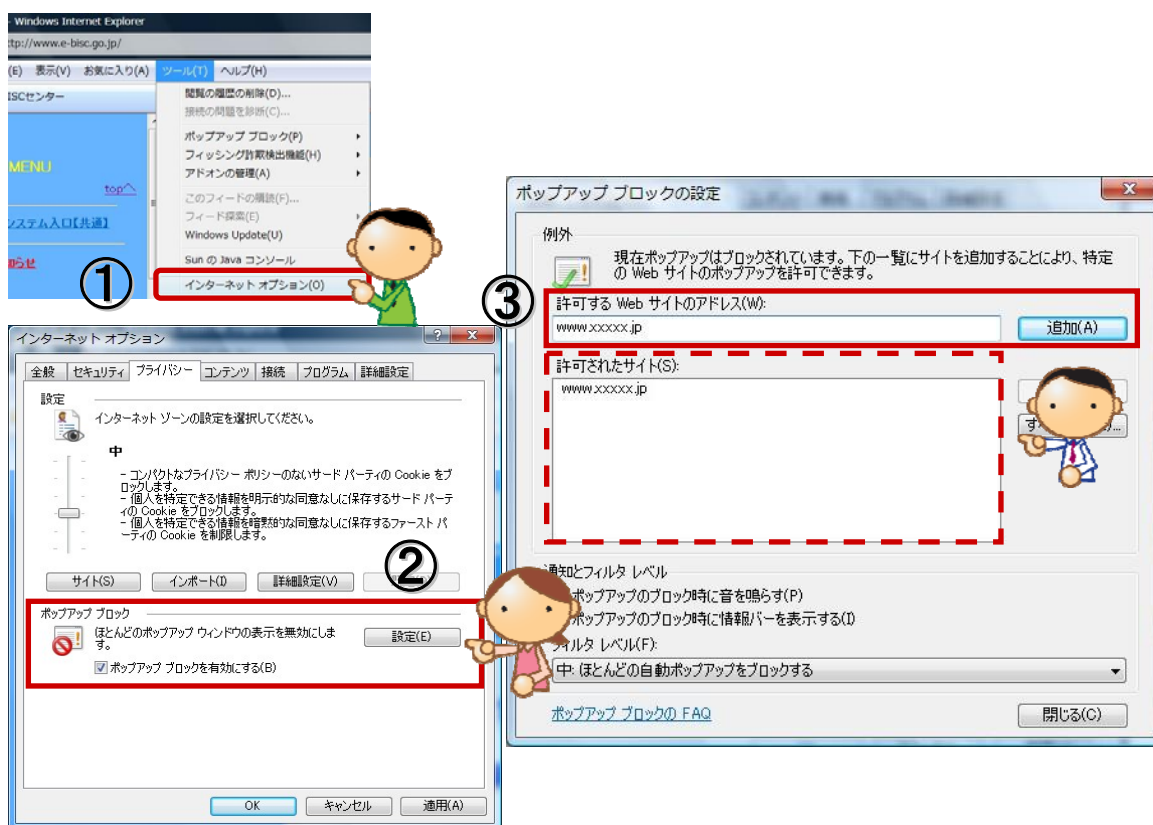
詳しくは「Windows XP Service Pack3、Windows Vista Service Pack2 及び Windows 7 の制限事項」(P13)をご覧ください。

※ Yahooツールバー、Googleツールバー等を導入利用されている場合、これらのツールバーにも、ポップアップブロック機能が存在するため、各ツールバーにおきましても回避設定が必要となります。各種ツールバーではその他のセキュリティ機能が、電子入札の利用に影響を与える場合があります。これらを電子入札で利用することは推奨いたしませんので、自己責任において対処のうえお使い下さい。

上記の各回避方法について、『Internet Explorer 7 及び Internet Explorer 8』を例に取り説明いたします。

○ ポップアップブロック機能対応方法1(該当サイトの手入力による登録)

[インターネットオプション]の[プライバシー]タグにより該当サイトを登録しサイトのポップアップを許可する。



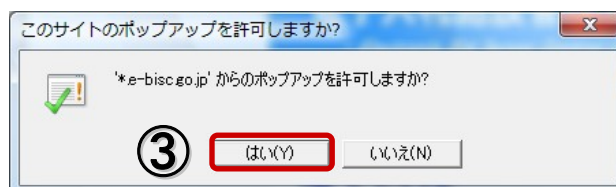
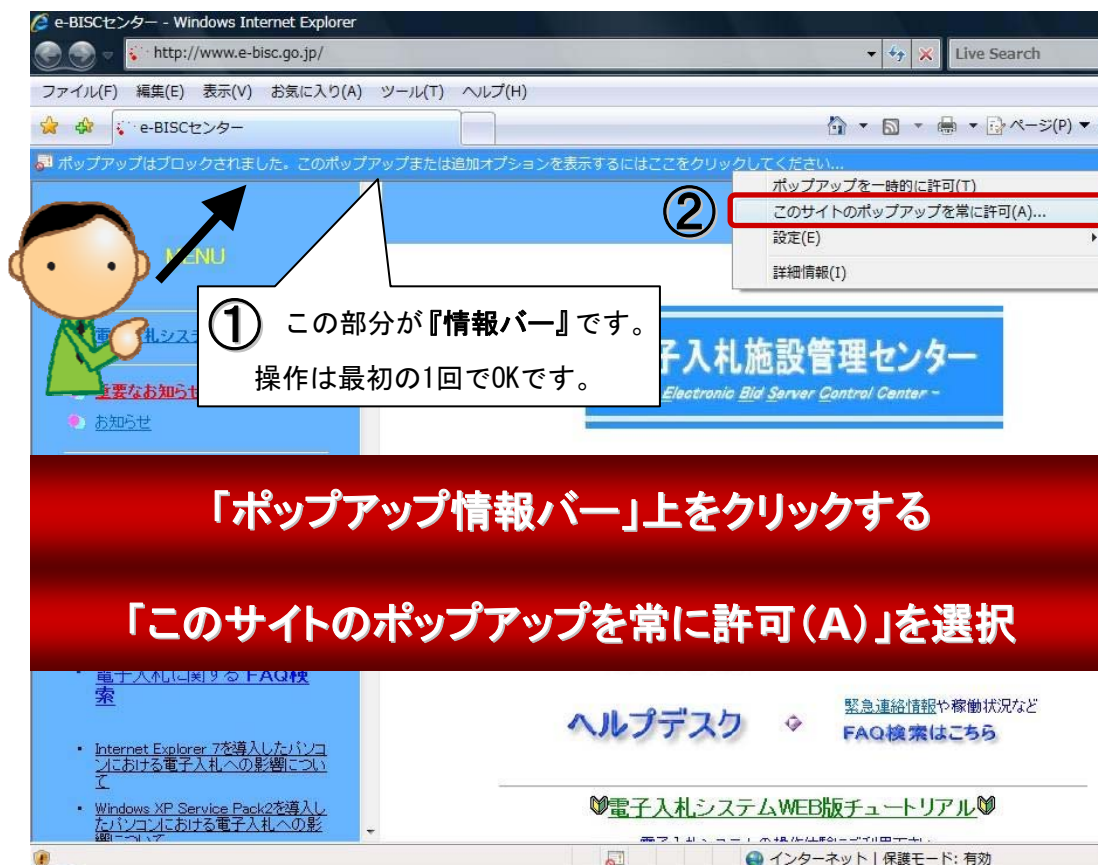
- ① Internet Explorer の[ツール(T)]より[インターネット オプション(O)]を選択
- ② インターネット オプション内[プライバシー]タグの下部[ポップアップ ブロック] の [設定(E)]をクリック
- ③ ポップアップ ブロックの設定内の[許可するWebサイトのアドレス(W)]に該当サイトアドレスを入力し、[追加(A)]をクリックすることで[許可されたサイト(S)] に登録され、該当サイトのポップアップが許可されます。

登録するアドレス

- ・ 『 *e-bisc.go.jp 』 (半角文字入力)

○ ポップアップブロック機能対応方法2(情報バーによる登録)

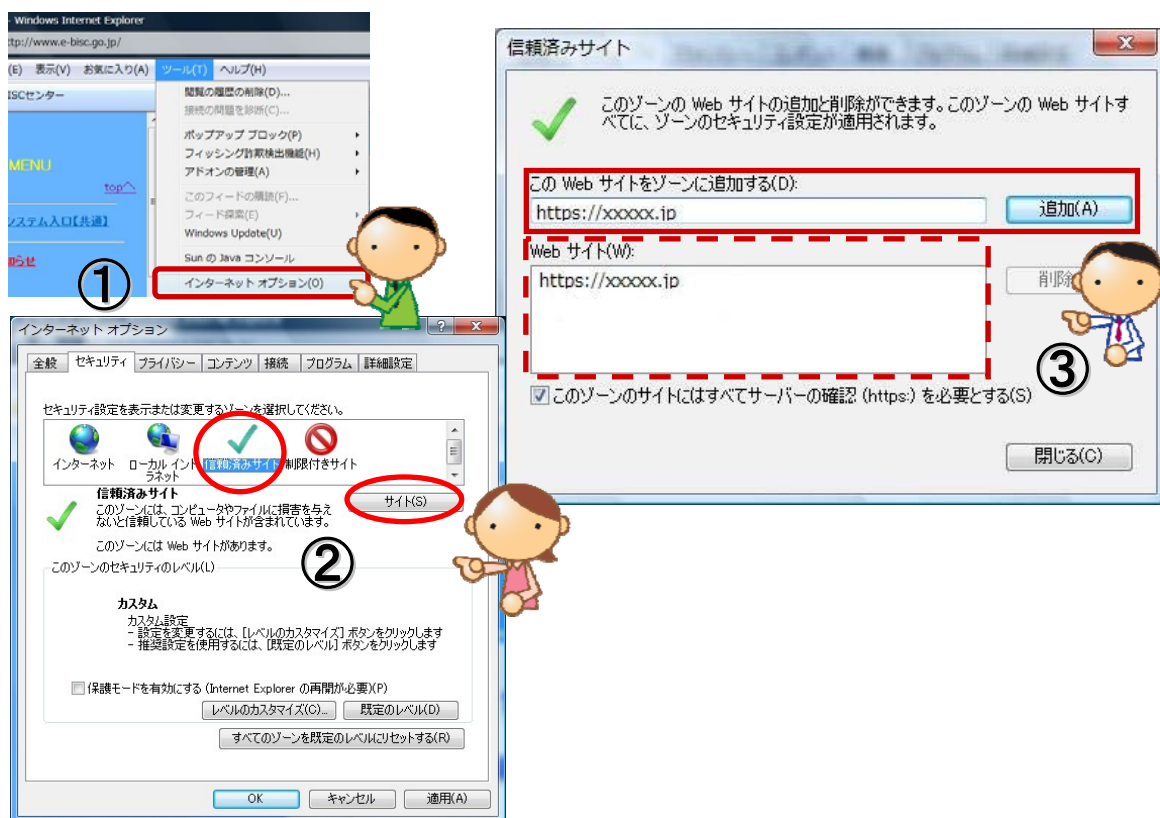
ポップアップブロックされたサイト上の[ポップアップ情報バー]にて該当サイトを直接許可する。



- ① 画面上的「ポップアップ情報バー」をクリック
- ② 画面表示されたメニューより[このサイトのポップアップを常に許可(A)]を選択
- ③ このサイトのポップアップを許可しますか? ダイアログボックスにて[はい(Y)]を選択

○ ダウンロード防止機能対応方法(該当サイトの手入力による登録)

(1) [インターネットオプション]の[セキュリティ]タグから[信頼済みサイト]として登録しサイトを許可する。

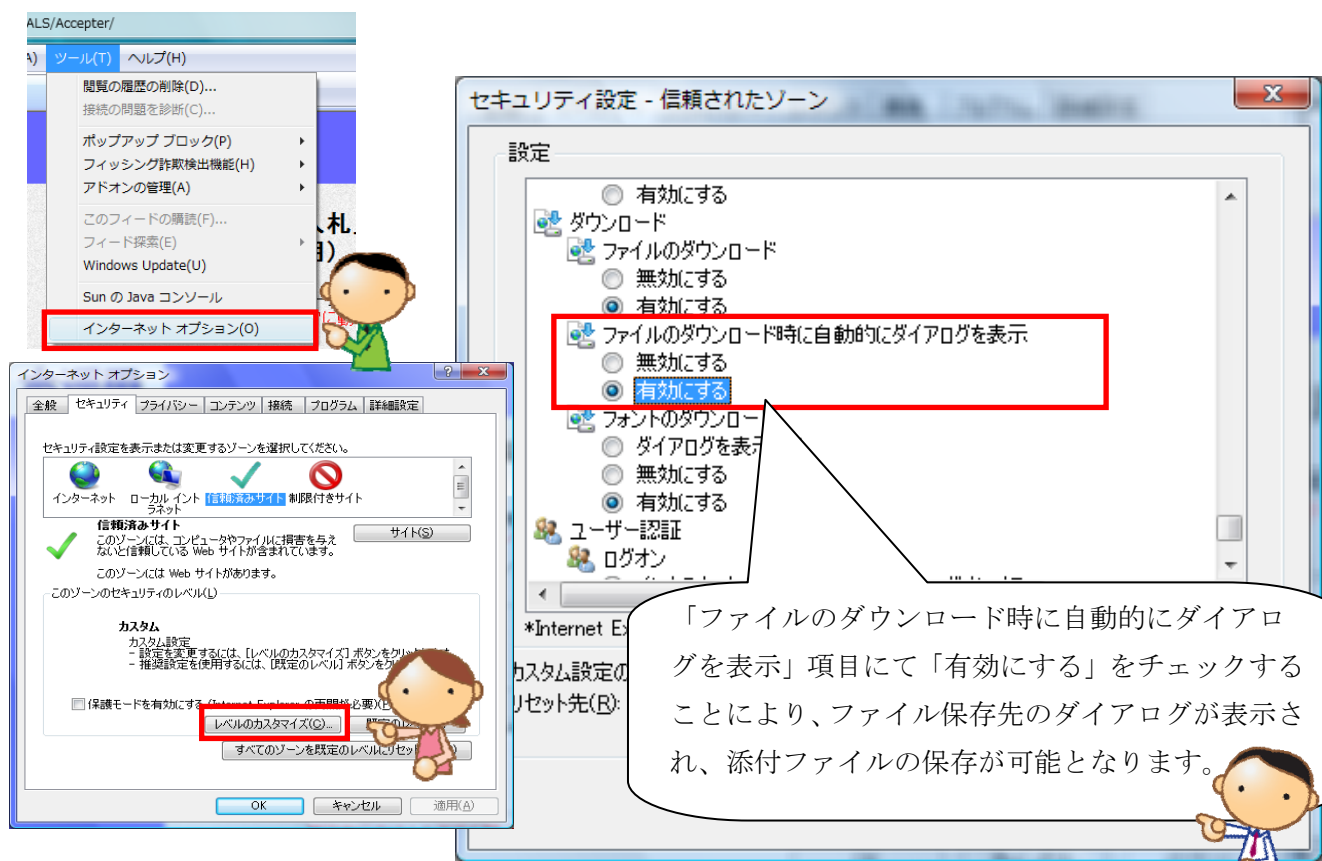


- ① Internet Explorer の [ツール(T)] より [インターネット オプション(O)] を選択
- ② インターネット オプション内 [セキュリティ] タグ内 [信頼済みサイト] をクリックし、[サイト(S)] をクリック
- ③ 信頼済みサイトの [このWebサイトをゾーンに追加する(D)] に登録するアドレスを入力し、[追加(A)] をクリックすることで [Web サイト(W)] に登録され、ファイルのダウンロードが許可されます。

登録するアドレス

- ・ 『 <https://e2odw.e-bisc.go.jp> 』 (半角文字入力)
- ・ 『 <https://e2acc01.e-bisc.go.jp> 』 (半角文字入力)

(2) IE7、IE8 では、(1)の対応とあわせて、[インターネットオプション]の[セキュリティ]タブから [レベルのカスタマイズ]、セキュリティ設定-信頼されたゾーン画面において、以下の設定を変更する。



※上記は IE6 SP3 における信頼済みサイトの既定のセキュリティレベルとして設定される内容と同じです。

○ URL 表示への対応方法 (IE7、IE8)

[インターネットオプション]の[セキュリティ]タブから[レベルのカスタマイズ]、セキュリティ設定-信頼されたゾーン画面において、以下の設定を変更する。

The image shows a composite of three screenshots from Internet Explorer. The top-left screenshot shows the 'Tools' menu with 'Internet Options' highlighted. The bottom-left screenshot shows the 'Internet Options' dialog box with the 'Security' tab selected and the 'Custom Level' button highlighted. The right screenshot shows the 'Security Settings - Trusted Zones' dialog box with the 'Allow scripts to open windows without size and position restrictions' option checked. A speech bubble from a cartoon character explains that checking this option will prevent the URL from being displayed in the window title bar, showing only the page title.

「サイズや位置の制限なしにスクリプトでウィンドウを開く事を許可する」項目にて「有効にする」をチェックすることにより、ウィンドウタイトル部のURLが表示されなくなり、従来と同様タイトルのみが表示になります。

※上記は IE6 SP3 における信頼済みサイトの既定のセキュリティレベルとして設定される内容と同じです。

○ 画面の崩れ表示への対応方法 1 (IE8)

登録するアドレスのトップ画面にて、アドレスバー右横に表示されている「互換表示」ボタンを押下する。



互換表示変更

- ・ 本運用環境(工事・業務/物品・役務)トップ画面
- ・ 接続確認環境(工事・業務/物品・役務)トップ画面

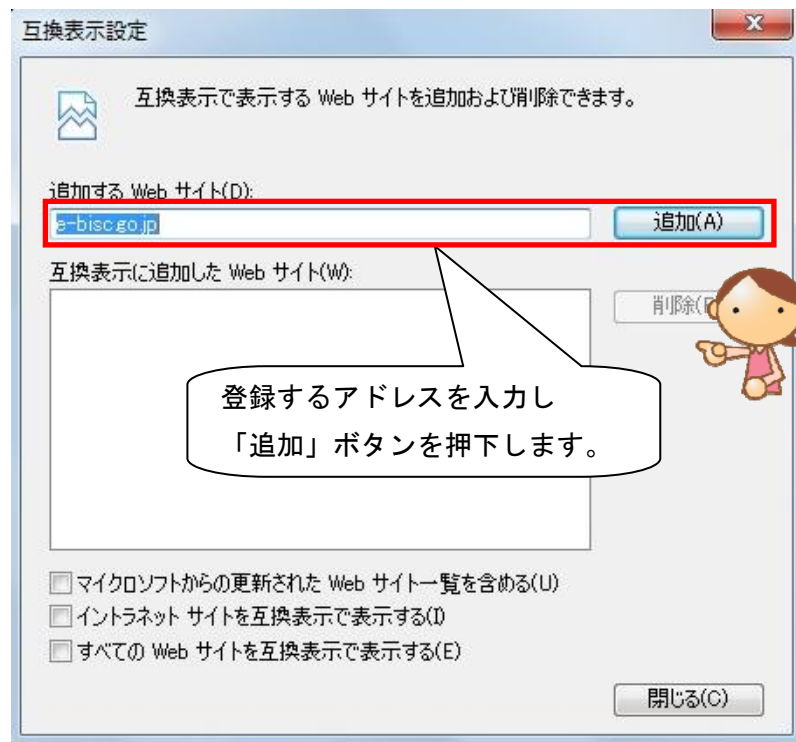
※上記のいずれか1画面での対応により、両画面ともに互換表示設定が有効となります。

○ 画面の崩れ表示への対応方法 2 (IE8)

- ① [ツール]の[互換表示設定]を選択しサイトを許可する。



- ② 「追加する Web サイト(D)」に登録するアドレスを入力し、追加ボタンを押下する。



登録するアドレス

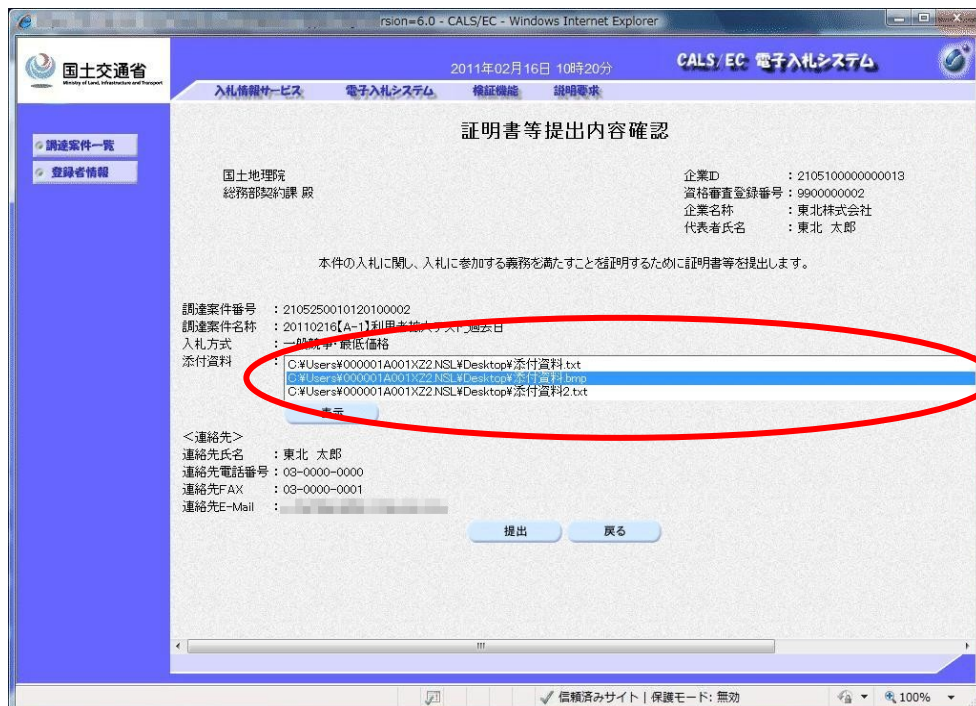
- ・ 『 e-bisc.go.jp 』（半角文字入力）

前述のアドレス登録後に該当 Web サイトを表示すると、各トップ画面のアドレスバー右横に表示されている「互換表示」ボタンの表示が以下の通りに変化します。



※ 画面の崩れ表示への対応における制限事項（電子入札への影響はありません。）

- 証明書等提出内容確認画面において、添付資料が複数存在する場合に添付資料欄が横長に表示されますが、電子入札に影響を与えるものではありません。



○ Windows XP Service Pack3、Windows Vista Service Pack2 及び Windows 7 の制限事項

上記の影響内容の他に Windows XP SP3、Windows Vista SP2 及び Windows7 を導入されたパソコンをご使用頂くにあたり、次の2点の制限事項があります。

なお、これらは電子入札の一部機能使用時に発生するものであり、電子入札に影響を与えるものではありません。

(1) ファイルの添付に際して内容表示が出来ない

申請書等を提出する際の「申請書等提出内容確認」画面等の各操作画面内にある [表示] ボタンにより、提出前に添付ファイルの内容表示をさせようとしてもシステムが反応しない。(スクリプトエラー時の表示設定によってはエラーダイアログが表示されます)

【対応】

添付したファイルの内容は、別途ファイルエクスプローラ等を利用し添付時の参照先(ファイルパス)のファイルを直接指定しご確認ください。

(2) [ファイルのダウンロード]ダイアログを表示すると操作中のウィンドウが消えてしまう

帳票類を表示した際の [保存] ボタンや添付ファイルの [表示] ボタンによりサーバにあるファイルをダウンロードして保存、表示を行おうとした場合、[ファイルのダウンロード]ダイアログが表示され、「開く」、[保存]、[キャンセル]のいずれかの操作の実施後に作業元の電子入札画面(ブラウザ)が消えてしまう。

【対応】

再度[電子入札システム]にログインし処理の継続をお願いいたします。